

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更日 2025 年 8 月 7 日（木）より

■ 対象項目

検査項目	項目コード (旧項目コード)	項目名
	OOP87 0 (OP87 1)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD（3カ月以下）
	OOQ02 2 (OQ02 7)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD（3～12カ月）
	OOQ17 6 (OQ17 9)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD（12～24カ月）
	OOQ32 9 (OQ32 3)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD（FF）
	OOP03 2 (OP03 8)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用（3カ月以下）
	OOP24 9 (OP24 6)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用（3～12カ月）
	OOP45 6 (OP45 4)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用（12～24カ月）
	OOP66 3 (OP66 2)	AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用（FF）



■ 変更内容

当該検査についてEGFR遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌に対して、ヤンセンファーマ株式会社が販売する上皮成長因子受容体（EGFR）および間葉上皮転換因子（MET）を標的とする二重特異性抗体「ライブリバント®点滴静注350mg」（一般名：アミバンタマブ（遺伝子組換え））と、経口第3世代EGFRチロシンキナーゼ阻害薬である「ラズクルーズ®錠80mg/240mg」（一般名：ラゼルチニブメシル酸塩水和物）との併用療法のコンパニオン診断薬として適応追加の承認が取得されました。

上記に伴い、SRL総合検査案内に記載のある以下の一覧表に「アミバンタマブ（遺伝子組換え）とラゼルチニブメシル酸塩水和物の併用療法」を追加いたします。

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>BRAF</i> V600E変異	非小細胞肺癌	ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物の併用投与
<i>EGFR</i> 遺伝子変異		ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩、 アミバンタマブ（遺伝子組換え）とラゼルチニブメシル酸塩水和物の併用療法
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、ブリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、エヌトレクチニブ、レポトレクチニブ
<i>MET</i> ex14スキッピング変異		テポチニブ塩酸塩水和物、カプマチニブ塩酸塩水和物、グマロンチニブ水和物
<i>KRAS</i> G12C遺伝子変異		ソトラシブ
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルペルカチニブ